横浜南部市場花き棟におけるアスベスト(吹き付け材)について

横浜南部市場(金沢区鳥浜町1-1)において、花き棟倉庫(旧ボイラー室)内の天井の耐火被覆材からアスベストが検出されました。

これに伴い該当場所のアスベスト浮遊量調査を行ったところ、健康上問題のないことを確認しました。

今後、除去等の安全対策を講じていきますが、当面の措置として、当該倉庫の使用を中止して部屋を閉鎖するとともに、関係者の立ち入りを禁止としています。

1 耐火被覆材の分析結果(11月22日速報値)

(1) 検出場所

花き棟倉庫(旧ボイラー室)面積12.6㎡の天井部

(2) 種類及び含有率

クロシドライト(25%)、アモサイト(13%)、クリソタイル(9.2%)

2 浮遊量調査結果(11月25日速報値)

調査箇所(3箇所)

①倉庫内: 0.51本/リットル、

②倉庫前(約1m地点):0.23本/リットル、

③倉庫前(約5m地点):0.056本/リットル

横浜市のアスベスト含有吹付け材がある公共建築物では、「囲い込み状態にある施設」、「当面対策を要しない施設」とされた施設については、原則的に毎年度アスベスト浮遊量測定調査を行っており、WHO基準(※)で比較しています。今回の結果もその安全判定基準内です。

※ WHO基準: WHOの保険報告書「世界の都市部の一般環境中のアスベスト濃度は、1本~10本/リットル程度であれば健康リスクは検出できないほど低い」を適用。

3 アスベスト検出の経緯

8月 アスベスト含有保温材等の点検を行ったところ、花き棟倉庫(旧ボイラー室)の天 井部に吹付け材を確認

9月 過去の調査結果の検収の結果、未調査であることが判明

10月・11月 耐火被覆材の分析調査、浮遊量調査

4 今後の対応

耐火被覆材の除去工事を行うなどの安全対策を至急実施します。